第３回ヤマハ ジュニア ピアノ コンクール
グランドファイナル

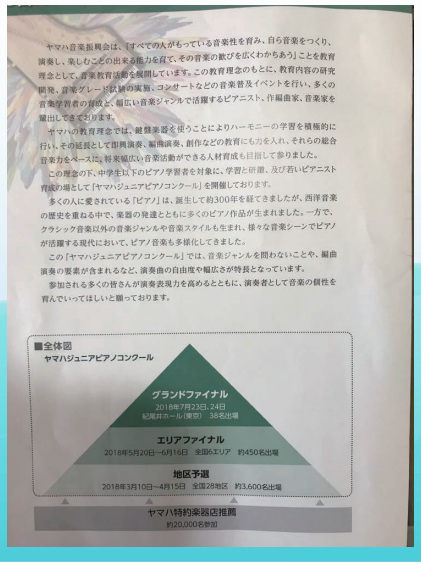
7月24日（火）東京 紀尾井ホールまでヤマハジュニアピアノコンクール グランドファイナルに出場する山地あず紗さんの演奏を聴きに行ってまいりました。

B部門の出場者は全国から15人。後一歩のところで惜しくも入賞は逃しましたがこのステージで演奏できること自体が名誉なことです……なんせ全国で15人ですから。

1月からスタートしたYJPCもこれで一区切りつき山地あず紗さんもいい経験を積む事ができたと思います。この経験を生かし新たなる目標、大きな夢に向かって今後の飛躍を期待します。

保護者の皆様、担当講師、演奏研究科の講師　多くの人の協力を頂いたことに「感謝」申し上げます。

秋山 良人



ヤマハ音楽振興会は、「すべての人がもっている音楽性を育み、自ら音楽をつくり、演奏し、楽しむことの出来る能力を育て、その音楽の歓びを広くわかちあう」ことを教育理念として、音楽教育活動を展開しています。この教育理念のもとに、教育内容の研究開発、音楽グレード試験の実施、コンサートなどの音楽普及イベントを行い、多くの音楽学習者の育成など、幅広い音楽ジャンルで活躍するピアニスト、作編曲家、音楽家を輩出してきております。

ヤマハの教育理念では、鍵盤楽器を使うことによりハーモニーの学習を積極的に行い、その延長として即興演奏、編曲演奏、創作などの教育にも力を入れ、それらの総合音楽力をベースに、将来幅広い音楽活動ができる人材育成も目指して参りました。

この理念の下、中学生以下のピアノ学習者を対象に、学習と研鑽、及び若いピアニスト育成の場として「ヤマハジュニアピアノコンクール」を開催しております。

多くの人に愛されている「ピアノ」は、誕生して約300年を経てきましたが、西洋音楽の歴史を重ねる中で、楽器の発達とともに多くのピアノ作品が生まれました。一方で、クラシック音楽以外の音楽ジャンルや音楽スタイルも生まれ、様々な音楽シーンでピアノが活躍する現代において、ピアノ音楽も多様化してきました。

この「ヤマハジュニアピアノコンクール」では、音楽ジャンルを問わないことや、編曲演奏の要素が含まれるなど、演奏曲の自由度や幅広さが特長となっています。

参加される多くの皆さんが演奏表現力を高めるとともに、演奏者として音楽の個性を育んでいってほしいと願っております。

■全体図
ヤマハジュニアピアノコンクール

グランドファイナル
2018年7月23日、24日
紀尾井ホール（東京）　38名出場

エリアファイナル
2018年5月20日～6月16日　全国6エリア　約450名出場

地区予選
2018年3月10日～4月15日　全国28地区　約3,600名出場

ヤマハ特約楽器店推薦
約20,000名参加